

霧島市商工会

平成30年度第2回 霧島市の経済動向調査結果概要

「霧島市の経済動向アンケート調査」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

概況（食品関連産業）	
業況 D.I.	<p>○今期の業況 D.I.は▲28となり、前期（▲25）より3ポイント悪化した。 ⇒品目別にみると、黒酢、菓子が増加した一方、荒茶、その他が悪化した。</p> <p>○来期の業況見通し D.I.は▲19となり、今期（▲28）より9ポイント改善する見通し。 ⇒品目別にみると、黒酢が横ばいで推移する一方、荒茶、菓子、その他が改善する見通し。</p>
売上高 D.I.	<p>○今期は▲18となり、前期（▲17）とほぼ横ばい。 ⇒品目別にみると、黒酢、菓子が増加した一方、荒茶、その他が減少した。</p> <p>○来期は▲10となり、今期（▲18）よりも増加する見通し。 ⇒品目別にみると、黒酢が大幅に減少する一方、荒茶、その他が増加し、菓子が大幅に増加する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○平成30年9月末の製品・商品在庫の過不足感は、「過剰」8%、「適正」71%、「不足」21%で D.I.は▲13となり、前期（▲16）よりも増加した。 ⇒品目別にみると、黒酢が減少し、荒茶がほぼ横ばいとなった一方、菓子、その他が増加した。</p>
損益 D.I.	<p>○今期は▲25となり、前期（▲17）よりも悪化した。 ⇒品目別にみると、黒酢が改善し、その他がほぼ横ばいで推移した一方、菓子が悪化し、荒茶が大幅に悪化した。</p> <p>○来期は▲11となり、今期（▲25）よりも改善する見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶、その他が改善し、黒酢、菓子が大幅に改善する見通し。</p>
販売価格 D.I.	<p>○今期は▲5となり、前期（▲8）よりも上昇した。 ⇒荒茶が下落した一方、菓子が横ばいで推移し、黒酢、その他が上昇した。</p> <p>○来期は4となり、今期（▲5）よりもさらに上昇する見通し。 ⇒品目別にみると、黒酢が横ばいとなる一方、荒茶、菓子、その他の3品目が上昇する見通し。</p>
仕入価格 D.I.	<p>○今期は62となり、前期（51）よりも上昇した。 ⇒品目別にみると、黒酢、荒茶、菓子、その他の4品目すべてが上昇した。</p> <p>○来期は56となり、今期（62）よりも下落する見通し。 ⇒品目別にみると、菓子が上昇する一方、黒酢が横ばいで推移し、荒茶、その他の2品目が下落する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲28となり、前期（▲28）と同じだった。 ⇒品目別にみると、荒茶が悪化した一方、黒酢、菓子、その他が改善した。</p> <p>○来期は▲25となり、今期（▲28）よりも改善する見通し。 ⇒品目別にみると、黒酢、荒茶が横ばいで推移する一方、菓子、その他が改善する見通し。</p>
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲28となり、前期（▲20）よりも悪化した。 ⇒品目別にみると、荒茶が横ばいで推移した一方、その他がやや悪化、菓子が悪化したほか、黒酢が大幅に悪化し、全品目でマイナス圏となり、依然として人手不足感が強い。</p> <p>○来期は▲27となり、今期（▲28）とほぼ横ばいの見通し。 ⇒品目別にみると、その他が改善する一方、菓子がほぼ横ばい、黒酢、荒茶が横ばいで推移する見通し。</p>

図表1 霧島市の経済動向調査結果（食品関連産業）

	平成29年10月～30年3月期				平成30年4月～9月期				平成30年10月～31年3月期				今期比
	前期実績				今期実績				来期見通し				
	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	
自社の業況	9	57	34	▲25	9	54	37	▲28	9	63	28	▲19	↑
黒酢	0	56	44	▲44	10	50	40	▲30	10	50	40	▲30	→
荒茶	17	66	17	0	12	70	18	▲6	12	82	6	6	↑
菓子(かるかん等)	7	40	53	▲46	7	43	50	▲43	8	46	46	▲38	↑
その他	7	62	31	▲24	7	53	40	▲33	7	64	29	▲22	↑
売上高	18	47	35	▲17	17	48	35	▲18	19	52	29	▲10	↑
黒酢	11	56	33	▲22	20	50	30	▲10	10	50	40	▲30	↓
荒茶	28	55	17	11	24	52	24	0	24	58	18	6	↑
菓子(かるかん等)	20	27	53	▲33	13	54	33	▲20	29	42	29	0	↑
その他	14	48	38	▲24	13	44	43	▲30	14	54	32	▲18	↑
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 4	適正 76	不足 20	▲16	過剰 8	適正 71	不足 21	▲13					
黒酢	0	100	0	0	0	90	10	▲10					
荒茶	6	72	22	▲16	12	59	29	▲17					
菓子(かるかん等)	0	67	33	▲33	7	60	33	▲26					
その他	7	76	17	▲10	10	77	13	▲3					
損益	好転 13	横ばい 57	悪化 30	▲17	好転 7	横ばい 61	悪化 32	▲25	好転 13	横ばい 63	悪化 24	▲11	↑
黒酢	0	67	33	▲33	0	70	30	▲30	20	70	10	10	↑
荒茶	28	66	6	22	12	76	12	0	18	76	6	12	↑
菓子(かるかん等)	7	53	40	▲33	0	53	47	▲47	7	60	33	▲26	↑
その他	10	52	38	▲28	10	53	37	▲27	10	57	33	▲23	↑
販売価格	上昇 3	横ばい 86	低下 11	▲8	上昇 3	横ばい 89	低下 8	▲5	上昇 10	横ばい 84	低下 6	4	↑
黒酢	0	89	11	▲11	0	100	0	0	0	100	0	0	→
荒茶	0	94	6	▲6	0	82	18	▲18	7	80	13	▲6	↑
菓子(かるかん等)	13	74	13	0	0	100	0	0	14	86	0	14	↑
その他	0	86	14	▲14	7	83	10	▲3	14	79	7	7	↑
仕入価格	上昇 54	横ばい 43	低下 3	51	上昇 63	横ばい 36	低下 1	62	上昇 57	横ばい 42	低下 1	56	↓
黒酢	44	56	0	44	60	40	0	60	60	40	0	60	→
荒茶	33	61	6	27	41	59	0	41	35	65	0	35	↓
菓子(かるかん等)	67	33	0	67	79	21	0	79	86	14	0	86	↑
その他	62	35	3	59	70	27	3	67	54	42	4	50	↓
資金繰り	楽 1	普通 70	窮屈 29	▲28	楽 0	普通 72	窮屈 28	▲28	楽 1	普通 73	窮屈 26	▲25	↑
黒酢	0	67	33	▲33	0	70	30	▲30	0	70	30	▲30	→
荒茶	6	88	6	0	0	82	18	▲18	0	82	18	▲18	→
菓子(かるかん等)	0	60	40	▲40	0	67	33	▲33	0	71	29	▲29	↑
その他	0	66	34	▲34	0	69	31	▲31	4	67	29	▲25	↑
雇用人員	過剰 6	適正 68	不足 26	▲20	過剰 3	適正 66	不足 31	▲28	過剰 3	適正 67	不足 30	▲27	↑
黒酢	22	67	11	11	0	67	33	▲33	0	67	33	▲33	→
荒茶	0	71	29	▲29	0	71	29	▲29	0	71	29	▲29	→
菓子(かるかん等)	13	67	20	▲7	13	60	27	▲14	14	57	29	▲15	↓
その他	0	68	32	▲32	0	66	34	▲34	0	70	30	▲30	↑

概況（観光関連産業）

業況 D.I.	<p>○今期の業況 D.I.は▲31となり、前期(▲31)と同水準だった。 ⇒業種別にみると、その他が大幅に悪化し、旅客運送業が悪化したものの、浴場業が横ばいで推移し、宿泊業、飲食業が改善した。</p> <p>○来期の業況見通し D.I.は▲21となり、今期(▲31)よりも改善する見通し。 ⇒業種別にみると、旅客運送業が悪化する一方、宿泊業、飲食業が改善し、浴場業、その他が大幅に改善する見通し。</p>
売上高 D.I.	<p>○今期は▲31となり、前期(▲27)よりも減少した。 ⇒業種別にみると、宿泊業、飲食業が増加し、浴場業が横ばいで推移したものの、旅客運送業、その他が大幅に減少した。</p> <p>○来期は▲19となり、今期(▲31)よりも増加する見通し。 ⇒業種別にみると、旅客運送業がほぼ横ばいで推移する一方、宿泊業、飲食業が増加し、浴場業、その他が大幅に増加する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○平成 30 年 9 月末の製品・商品在庫の過不足感は、「過剰」5%、「適正」81%、「不足」14%で D.I.は▲9となり前期(▲9)と同じだった。 ⇒業種別にみると、旅客運送業が大幅に減少し、飲食業、その他が減少した一方、宿泊業が増加し、浴場業が大幅に増加した。</p>
損益 D.I.	<p>○今期は▲30と、前期(▲27)よりも悪化した。 ⇒業種別にみると、宿泊業がやや改善し、飲食業が改善した一方、浴場業が横ばいで推移し、旅客運送業、その他が大幅に悪化した。</p> <p>○来期は▲19となり、今期(▲30)よりも改善する見通し。 ⇒業種別にみると、飲食業がほぼ横ばい、旅客運送業が改善するほか、宿泊業、浴場業、その他が大幅に改善する見通し。</p>
販売価格 D.I.	<p>○今期は▲20となり、前期(▲6)から下落した。 ⇒業種別にみると、宿泊業、浴場業が横ばいで推移した一方、飲食業が下落し、旅客運送業、その他が大幅に下落した。</p> <p>○来期は▲4となり、今期(▲20)よりも上昇する見通し。 ⇒業種別にみると、旅客運送業が横ばいで推移する一方、飲食業が上昇し、宿泊業、浴場業、その他が大幅に上昇する見通し。</p>
仕入価格 D.I.	<p>○今期は 47と、前期(42)よりも上昇した。 ⇒業種別にみると、旅客運送業が下落した一方、宿泊業が横ばい圏、浴場業が横ばいで推移し、飲食業、その他が上昇した。</p> <p>○来期は 41となり、今期(47)よりも下落する見通し。 ⇒旅客運送業が大幅に上昇し、浴場業が横ばいで推移する一方、宿泊業がやや下落するほか、飲食業、その他が下落する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲26となり、前期(▲31)よりも改善した。 ⇒業種別にみると、その他が悪化し、宿泊業、浴場業が横ばいで推移した一方、飲食業が改善し、旅客運送業が大幅に改善した。</p> <p>○来期は▲21となり、今期(▲26)よりも改善する見通し。 ⇒業種別にみると、浴場業、旅客運送業、その他が横ばいで推移し、宿泊業、飲食業が改善する見通し。</p>
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲29となり、前期(▲26)よりも悪化した。 ⇒業種別にみると、宿泊業、浴場業が横ばい、飲食業が横ばい圏で推移したものの、旅客運送業、その他が大幅に悪化した。全業種でマイナス圏となり、依然として人手不足感が強い。</p> <p>○来期は▲27となり、今期(▲29)よりもやや改善する見通し。 ⇒業種別にみると、宿泊業が悪化する一方、浴場業、旅客運送業が横ばいで推移し、飲食業、その他が改善する見通し。</p>

図表2 霧島市の経済動向調査結果（観光関連産業）

	平成29年10月～30年3月期				平成30年4月～9月期				平成30年10月～31年3月期				今期比
	前期実績				今期実績				来期見通し				
	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	
自社の業況	9	51	40	▲31	9	51	40	▲31	7	65	28	▲21	↑
宿泊業	9	51	40	▲31	9	54	37	▲28	11	69	20	▲9	↑
浴場業	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50	0	100	0	0	↑
飲食業	7	53	40	▲33	9	55	36	▲27	6	64	30	▲24	↑
旅客運送業	25	50	25	0	29	28	43	▲14	14	43	43	▲29	↓
その他	11	39	50	▲39	0	35	65	▲65	0	71	29	▲29	↑
売上高	13	47	40	▲27	11	47	42	▲31	7	67	26	▲19	↑
宿泊業	14	40	46	▲32	14	43	43	▲29	9	71	20	▲11	↑
浴場業	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50	50	50	0	50	↑
飲食業	11	48	41	▲30	11	53	36	▲25	5	69	26	▲21	↑
旅客運送業	25	62	13	▲12	29	14	57	▲28	14	43	43	▲29	↓
その他	17	44	39	▲22	0	41	59	▲59	6	59	35	▲29	↑
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 4	適正 83	不足 13	▲9	過剰 5	適正 81	不足 14	▲9					
宿泊業	0	85	15	▲15	3	91	6	▲3					
浴場業	0	50	50	▲50	0	100	0	0					
飲食業	4	85	11	▲7	4	82	14	▲10					
旅客運送業	0	100	0	0	0	80	20	▲20					
その他	13	74	13	0	19	56	25	▲6					
損益	好転 9	横ばい 55	悪化 36	▲27	好転 9	横ばい 52	悪化 39	▲30	好転 6	横ばい 69	悪化 25	▲19	↑
宿泊業	6	54	40	▲34	11	46	43	▲32	9	80	11	▲2	↑
浴場業	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50	50	50	0	50	↑
飲食業	9	56	35	▲26	9	59	32	▲23	6	66	28	▲22	↑
旅客運送業	25	63	12	▲13	14	15	71	▲57	0	57	43	▲43	↑
その他	11	50	39	▲28	0	47	53	▲53	0	71	29	▲29	↑
販売価格	上昇 6	横ばい 82	低下 12	▲6	上昇 1	横ばい 78	低下 21	▲20	上昇 7	横ばい 82	低下 11	▲4	↑
宿泊業	6	77	17	▲11	0	89	11	▲11	9	91	0	9	↑
浴場業	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50	50	50	0	50	↑
飲食業	2	89	9	▲7	1	79	20	▲19	5	81	14	▲9	↑
旅客運送業	25	62	13	▲12	14	57	29	▲15	14	57	29	▲15	→
その他	11	78	11	0	0	65	35	▲35	6	76	18	▲12	↑
仕入価格	上昇 48	横ばい 46	低下 6	42	上昇 51	横ばい 45	低下 4	47	上昇 42	横ばい 57	低下 1	41	↓
宿泊業	49	40	11	38	46	45	9	37	38	59	3	35	↓
浴場業	50	50	0	50	50	50	0	50	50	50	0	50	→
飲食業	48	48	4	44	56	42	2	54	44	55	1	43	↓
旅客運送業	63	37	0	63	57	43	0	57	83	17	0	83	↑
その他	35	53	12	23	41	53	6	35	24	76	0	24	↓
資金繰り	楽 3	普通 63	窮屈 34	▲31	楽 4	普通 66	窮屈 30	▲26	楽 3	普通 73	窮屈 24	▲21	↑
宿泊業	6	60	34	▲28	6	60	34	▲28	3	71	26	▲23	↑
浴場業	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50	→
飲食業	2	65	33	▲31	2	72	26	▲24	2	78	20	▲18	↑
旅客運送業	0	62	38	▲38	0	86	14	▲14	0	86	14	▲14	→
その他	6	61	33	▲27	6	53	41	▲35	6	53	41	▲35	→
雇用人員	過剰 4	適正 66	不足 30	▲26	過剰 1	適正 69	不足 30	▲29	過剰 1	適正 71	不足 28	▲27	↑
宿泊業	3	63	34	▲31	0	69	31	▲31	0	63	37	▲37	↓
浴場業	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50	0	50	50	▲50	→
飲食業	1	78	21	▲20	2	75	23	▲21	2	78	20	▲18	↑
旅客運送業	0	12	88	▲88	0	43	57	▲57	0	43	57	▲57	→
その他	17	50	33	▲16	0	53	47	▲47	0	71	29	▲29	↑

【調査概要】

(1) 調査対象

霧島市商工会会員のうち食品関連産業事業者及び観光関連産業事業者。

(2) 調査時期

平成30年10月

(3) 有効回答数

	合計	地区別回答数					
		溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
食品関連産業	72	16	8	5	12	16	15
観光関連産業	142	19	6	39	22	46	10

(4) 対象期間

	時 期
前 期	平成29年10月～平成30年3月期
今 期	平成30年 4月～9月期
来 期	平成30年10月～平成31年3月期

(5) 質問項目

業況、売上高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益等

《D.I.について》

D.I.とは Diffusion Index の略で、企業の業況マインドや製品の在庫、雇用人員の過不足等について、回答企業の判断を指数化したものです。内閣府が発表する「景気動向指数」や、日本銀行の「短観」等で用いられており、各種研究機関等が実施する調査においても、自社の業況や売上・完工高、資金繰りや雇用人員等を指数化し調査しています。

算出にあたっては、例えば、業況の見通しについて「良い・普通・悪い」と選択肢があった場合、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いて求めます。業況見通しD.I.は現状判断、景気の予測等に用いられています。